



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社SCREENホールディングス

コード番号 7735 URL <https://www.screen.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 廣江 敏朗

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務室長 (氏名) 宮川 明彦

TEL 075-414-7155

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け決算説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	335,243	15.2	56,655	41.1	57,194	43.3	41,841	41.3
2022年3月期第3四半期	291,107	34.5	40,162	213.8	39,913	254.4	29,618	271.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 40,186百万円 (21.7%) 2022年3月期第3四半期 33,015百万円 (39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	886.12	863.44
2022年3月期第3四半期	635.96	603.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	541,866	283,705	52.3
2022年3月期	459,305	247,788	53.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 283,655百万円 2022年3月期 247,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	293.00	293.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	322.00	322.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460,000	11.7	74,500	21.6	73,000	22.8	50,000	9.9	1,057.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	50,794,866株	2022年3月期	50,794,866株
2023年3月期3Q	3,384,929株	2022年3月期	4,217,043株
2023年3月期3Q	47,219,039株	2022年3月期3Q	46,572,492株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年1月31日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料およびその説明内容は、当日の15時台に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9
3. 決算補足資料	11
(1) 連結決算の概要	11
(2) 事業セグメント別連結売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)における世界経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、部材不足など供給面での制約や原材料価格の上昇、インフレ圧力の高まりに伴う世界的な金融引き締めなどにより、足元では景気回復のテンポに鈍化が見られました。

当社グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス業界では、スマートフォンやパソコンなどの需要減少に伴い半導体メモリーメーカーの設備投資に縮小の動きが見られたものの、5G、AIの活用拡大を受けたIoT、DXの進展、GXを意識した微細化や実装技術分野への投資、自動車のEV化などを背景にファウンドリーやロジックメーカー、プリント基板関連の設備投資は底堅く推移しました。一方で、米国政府による半導体技術の対中輸出規制の強化などにより、米中の分断や安全保障問題への影響懸念がさらに高まりました。また、ディスプレイメーカーにおいては、パネル価格の下落などから、設備投資計画に見直しの動きが見られました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は3,352億4千3百万円と前年同期に比べ、441億3千5百万円(15.2%)増加しました。利益面につきましては、売上の増加や採算性の改善などにより、前年同期に比べ、営業利益は164億9千2百万円(41.1%)増加の566億5千5百万円、経常利益は172億8千万円(43.3%)増加の571億9千4百万円となりました。また、特別利益において、関係会社株式売却益等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は122億2千3百万円(41.3%)増加の418億4千1百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

(半導体製造装置事業：SPE)

半導体製造装置事業では、前年同期に比べ、メモリー向けの売上は減少したものの、ファウンドリー向けやロジック向けが増加しました。地域別では、中国向けの売上は減少しましたが、台湾向けや欧州向けの売上が増加しました。その結果、当セグメントの売上高は2,706億9千7百万円(前年同期比19.7%増)となりました。営業利益は、売上の増加や採算性の改善などにより、557億5千3百万円(前年同期比34.7%増)となりました。

(グラフィックアーツ機器事業：GA)

グラフィックアーツ機器事業では、装置売上やインクを中心とするリカーリングビジネスの売上が増加したことから、当セグメントの売上高は342億6千2百万円(前年同期比10.8%増)となりました。営業利益は、売上の増加などにより、27億1千万円(前年同期比145.9%増)となりました。

(ディスプレイ製造装置および成膜装置事業：FT)

ディスプレイ製造装置および成膜装置事業では、顧客の設備投資低迷を受けディスプレイ製造装置の売上が減少したことから、当セグメントの売上高は171億5千8百万円(前年同期比25.8%減)となりました。利益面では、売上の減少などにより、11億3千5百万円の営業損失(前年同期は1億4千3百万円の営業損失)となりました。

(プリント基板関連機器事業：PE)

プリント基板関連機器事業では、データセンター需要の拡大などを受け直接描画装置の売上が増加したことから、当セグメントの売上高は123億8千8百万円(前年同期比34.2%増)となりました。営業利益は、売上の増加などにより、25億9千2百万円(前年同期比67.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金や棚卸資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ、825億6千1百万円(18.0%)増加し、5,418億6千6百万円となりました。

負債合計は、転換社債型新株予約権付社債が減少した一方、仕入債務や契約負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ、466億4千3百万円(22.1%)増加し、2,581億6千万円となりました。

純資産合計は、配当金の支払いの一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や転換社債型新株予約権付社債の転換による資本剰余金の増加や自己株式の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、359億1千7百万円(14.5%)増加し、2,837億5百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、52.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、その他流動負債の増加、仕入債務の増加などの収入項目が、法人税等の支払い、棚卸資産の増加、売上債権の増加などの支出項目を上回ったことから、536億5千4百万円の収入(前年同期は637億3百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新工場建設に伴う支払いなどの支出項目が、関係会社株式の売却などの収入項目を上回ったことから、54億6千9百万円の支出(前年同期は46億9千4百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや転換社債型新株予約権付社債の償還による支出などにより、204億7千7百万円の支出(前年同期は44億6百万円の支出)となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、現金及び現金同等物に係る換算差額を含め、前連結会計年度末に比べ302億1千7百万円増加し、1,612億2千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年10月28日に公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,088	162,547
受取手形、売掛金及び契約資産	85,425	99,096
電子記録債権	5,734	10,254
商品及び製品	45,790	47,626
仕掛品	46,741	58,405
原材料及び貯蔵品	11,206	16,871
その他	11,229	20,982
貸倒引当金	△848	△932
流動資産合計	338,367	414,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,533	69,971
機械装置及び運搬具	49,763	51,888
その他	37,218	42,038
減価償却累計額	△94,991	△95,632
有形固定資産合計	56,524	68,265
無形固定資産		
その他	4,804	4,591
無形固定資産合計	4,804	4,591
投資その他の資産		
投資有価証券	44,370	37,398
退職給付に係る資産	7,810	8,139
繰延税金資産	4,904	6,008
その他	2,620	2,707
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	59,609	54,156
固定資産合計	120,938	127,013
資産合計	459,305	541,866

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,498	36,773
電子記録債務	48,955	72,305
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	15,003	—
1年内返済予定の長期借入金	400	400
リース債務	991	1,093
未払法人税等	7,088	10,497
設備関係支払手形	1,413	240
設備関係電子記録債務	708	5,043
契約負債	32,927	50,809
賞与引当金	5,458	4,673
役員賞与引当金	272	136
製品保証引当金	8,774	9,911
受注損失引当金	752	685
その他	19,376	31,764
流動負債合計	175,620	224,336
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,033	15,025
長期借入金	10,400	10,200
リース債務	2,408	2,399
退職給付に係る負債	1,149	1,229
役員退職慰労引当金	174	174
株式給付引当金	49	44
役員株式給付引当金	41	36
資産除去債務	89	100
その他	6,549	4,613
固定負債合計	35,896	33,824
負債合計	211,516	258,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,044	54,044
資本剰余金	4,488	10,308
利益剰余金	185,804	213,946
自己株式	△18,503	△14,893
株主資本合計	225,834	263,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,250	16,239
為替換算調整勘定	4	3,488
退職給付に係る調整累計額	626	520
その他の包括利益累計額合計	21,881	20,248
非支配株主持分	72	50
純資産合計	247,788	283,705
負債純資産合計	459,305	541,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	291,107	335,243
売上原価	199,165	221,145
売上総利益	91,942	114,097
販売費及び一般管理費	51,779	57,442
営業利益	40,162	56,655
営業外収益		
受取利息	85	128
受取配当金	525	717
助成金収入	232	260
その他	425	445
営業外収益合計	1,268	1,552
営業外費用		
支払利息	214	176
為替差損	368	175
持分法による投資損失	28	219
固定資産除却損	617	127
その他	288	315
営業外費用合計	1,517	1,013
経常利益	39,913	57,194
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,461
事業譲渡益	—	91
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	3,553
特別損失		
投資有価証券評価損	545	0
企業年金基金脱退損失	158	—
特別損失合計	703	0
税金等調整前四半期純利益	39,211	60,746
法人税等	9,609	18,930
四半期純利益	29,601	41,815
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,618	41,841

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	29,601	41,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,522	△5,010
為替換算調整勘定	1,891	3,482
退職給付に係る調整額	△0	△106
持分法適用会社に対する持分相当額	0	5
その他の包括利益合計	3,413	△1,629
四半期包括利益	33,015	40,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,029	40,208
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	39,211	60,746
減価償却費	7,108	6,482
投資有価証券評価損益 (△は益)	545	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	—
固定資産除却損	617	127
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△3,461
事業譲渡損益 (△は益)	—	△91
持分法による投資損益 (△は益)	28	219
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△378	△404
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,138	△784
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58	△136
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	7	△5
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5	△5
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,053	1,141
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	807	△67
受取利息及び受取配当金	△610	△846
支払利息	214	176
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	909	△18,886
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,615	△20,193
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△535	△787
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,085	26,171
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	6,698	29,317
その他	△329	△884
小計	71,902	77,828
利息及び配当金の受取額	589	840
利息の支払額	△212	△171
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,575	△24,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,703	53,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	663	822
有形固定資産の取得による支出	△4,730	△11,950
有形固定資産の売却による収入	91	419
無形固定資産の取得による支出	△783	△1,083
投資有価証券の取得による支出	△121	△310
投資有価証券の売却による収入	190	—
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	—	5,725
事業譲渡による収入	—	572
その他	△6	335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,694	△5,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△109	△200
リース債務の返済による支出	△1,083	△908
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	—	△5,681
自己株式の純増減額 (△は増加)	△7	△4
配当金の支払額	△4,205	△13,683
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,406	△20,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,261	2,509
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	55,863	30,217
現金及び現金同等物の期首残高	60,744	131,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	116,608	161,228

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の権利行使に伴い、自己株式の処分を行っております。この結果、資本剰余金が5,820百万円増加し、自己株式が3,499百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1					その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
	SPE	GA	FT	PE	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	226,129	30,894	23,018	9,229	289,272	1,835	291,107	—	291,107
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	32	100	—	133	10,375	10,508	△10,508	—
計	226,129	30,927	23,119	9,229	289,405	12,211	301,616	△10,508	291,107
セグメント利益 又は損失(△)	41,404	1,102	△143	1,546	43,910	△556	43,354	△3,191	40,162

- (注)1 半導体製造装置事業(SPE)は、半導体製造装置の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。グラフィックアーツ機器事業(GA)は、印刷関連機器の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。ディスプレイ製造装置および成膜装置事業(FT)は、ディスプレイ製造装置および成膜装置の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。プリント基板関連機器事業(PE)は、プリント基板関連機器の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサイエンス分野の機器および車載用部品検査装置の開発・製造および販売、ソフトウェアの開発、印刷物の企画・製作等の事業を含んでおります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,191百万円は、事業セグメントに配分していない当社の損益などであります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント（注）1					その他 （注）2	合計	調整額 （注）3	四半期 連結損益 計算書 計上額 （注）4
	S P E	G A	F T	P E	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	270,697	34,074	16,841	12,315	333,928	1,315	335,243	—	335,243
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	188	316	72	577	11,753	12,331	△12,331	—
計	270,697	34,262	17,158	12,388	334,506	13,068	347,575	△12,331	335,243
セグメント利益 又は損失（△）	55,753	2,710	△1,135	2,592	59,922	△196	59,725	△3,070	56,655

- (注) 1 半導体製造装置事業（S P E）は、半導体製造装置の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。グラフィックアーツ機器事業（G A）は、印刷関連機器の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。ディスプレイ製造装置および成膜装置事業（F T）は、ディスプレイ製造装置および成膜装置の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。プリント基板関連機器事業（P E）は、プリント基板関連機器の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサイエンス分野の機器の開発・製造および販売、ソフトウェアの開発、印刷物の企画・製作等の事業を含んでおります。
- 3 セグメント利益又は損失（△）の調整額△3,070百万円は、事業セグメントに配分していない当社の損益などであります。
- 4 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 決算補足資料

(1) 連結決算の概要

(百万円未満切捨、その他は単位未満四捨五入)

	2022年3月期	2023年3月期	前期比		2022年3月期	2023年3月期
	第3四半期実績	第3四半期実績	増減	増減率	実績	通期予想
売上高	291,107	335,243	+44,135	+15.2%	411,865	460,000
営業利益	40,162	56,655	+16,492	+41.1%	61,273	74,500
(営業利益率)	13.8%	16.9%	+3.1pt	—	14.9%	16.2%
経常利益	39,913	57,194	+17,280	+43.3%	59,438	73,000
(経常利益率)	13.7%	17.1%	+3.4pt	—	14.4%	15.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	29,618	41,841	+12,223	+41.3%	45,481	50,000
(親会社株主に帰属する当期純利益率)	10.2%	12.5%	+2.3pt	—	11.0%	10.9%
総資産	454,649	541,866	★ +82,561	+18.0%	459,305	—
純資産	237,307	283,705	★ +35,917	+14.5%	247,788	—
自己資本	237,154	283,655	★ +35,940	+14.5%	247,715	—
自己資本比率	52.2%	52.3%	★ △1.6pt	—	53.9%	—
1株当たり純資産	5,091.54円	5,983.04円	★ +664.72円	+12.5%	5,318.32円	—
有利子負債	44,544	29,118	★ △15,117	△34.2%	44,236	—
純有利子負債	△73,383	△133,428	★ △44,576	△50.2%	△88,851	—
営業キャッシュ・フロー	63,703	53,654	—	—	81,752	—
投資キャッシュ・フロー	△4,694	△5,469	—	—	△9,952	—
財務キャッシュ・フロー	△4,406	△20,477	—	—	△4,951	—
減価償却費	7,108	6,482	△626	△8.8%	9,500	9,500
設備投資額	6,824	18,352	+11,528	+168.9%	13,409	31,000
研究開発費	16,563	17,805	+1,242	+7.5%	24,035	29,000
グループ従業員数	5,962人	5,979人	★ +36人	+0.6%	5,943人	—
連結子会社数	56社	55社	★ △2社	—	57社	—
(国内)	(26社)	(26社)	★ (—社)	—	(26社)	—
(海外)	(30社)	(29社)	★ (△2社)	—	(31社)	—
非連結子会社数	3社	4社	★ +1社	—	3社	—
(うち持分法適用会社数)	(—社)	(1社)	★ (+1社)	—	(—社)	—
関連会社数	2社	1社	★ △1社	—	2社	—
(うち持分法適用会社数)	(2社)	(1社)	★ (△1社)	—	(2社)	—

★は前期末比(2022年3月期)増減

(注) 連結子会社の減少は以下のとおりであります。

Inca Digital Printers LTD. (持分比率100%)

SCREEN GP IJC Ltd. (持分比率100%)

* 第1四半期において株式譲渡

(2) 事業セグメント別連結売上高

(単位: 百万円)

		2022年3月期				2023年3月期					
		第2四半期 (累計)実績	第3四半期 実績	第3四半期 (累計)実績	通期実績	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第2四半期 (累計)実績	第3四半期 実績	第3四半期 (累計)実績	通期予想
半導体製造装置事業 (SPE)	国内	24,168	13,708	37,876	51,842	10,188	18,126	28,314	13,484	41,798	—
	海外	117,275	70,976	188,252	267,556	74,445	73,788	148,233	80,665	228,899	—
	計	141,444	84,684	226,129	319,398	84,633	91,914	176,548	94,149	270,697	375,000
グラフィックアーツ 機器事業 (GA)	国内	8,658	4,006	12,665	16,955	4,434	5,054	9,488	5,447	14,936	—
	海外	12,271	5,990	18,262	26,362	6,123	6,617	12,741	6,584	19,325	—
	計	20,930	9,997	30,927	43,317	10,558	11,671	22,230	12,031	34,262	41,000
ディスプレイ製造装 置および成膜装置事 業 (FT)	国内	1,424	461	1,886	2,761	347	400	748	318	1,066	—
	海外	16,160	5,072	21,232	30,525	2,712	8,080	10,792	5,299	16,092	—
	計	17,585	5,534	23,119	33,286	3,060	8,480	11,540	5,617	17,158	28,000
プリント基板関連機 器事業 (PE)	国内	1,593	807	2,400	3,649	664	1,092	1,757	850	2,608	—
	海外	4,240	2,587	6,828	9,662	2,681	3,174	5,856	3,924	9,780	—
	計	5,834	3,395	9,229	13,311	3,346	4,266	7,613	4,774	12,388	15,000
その他	国内	1,294	319	1,614	2,517	300	361	662	410	1,072	—
	海外	141	79	221	287	86	93	180	62	242	—
	計	1,436	399	1,835	2,804	386	455	842	472	1,315	2,000
セグメント間の内部 売上高	国内	△23	△109	△133	△253	△157	△211	△369	△207	△577	—
	海外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	△23	△109	△133	△253	△157	△211	△369	△207	△577	△1,000
合計	国内	37,116	19,194	56,310	77,471	15,777	24,823	40,600	20,302	60,903	—
	海外	150,090	84,706	234,796	334,393	86,049	91,754	177,803	96,536	274,340	—
	計	187,206	103,900	291,107	411,865	101,826	116,577	218,404	116,839	335,243	460,000
	海外比率	80.2%	81.5%	80.7%	81.2%	84.5%	78.7%	81.4%	82.6%	81.8%	—